風洞試験設備の維持・運営の民営化に係る情報提供書

回答日：　　　　年　　月　　日

情報提供書

|  |  |
| --- | --- |
| 所属 | （会社名、大学名等。複数の組織で応募する場合は主担当組織に☆印を付けてください。）機関名（法人名）　　　　　　　　　◯◯◯◯株式会社 |
| 担当者 | （担当者の氏名を記入願います。複数人の場合は主担当者に☆印を付けてください。）所属部署　　　　　　　　　　　　　　◯◯◯開発本部　　◯◯研究所役職名　　　　　　　　　　　　　　　　主任研究員氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　◯◯　◯◯ |
| 連絡先 | （JAXAから連絡を差し上げる方の　住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記入願います。）住所　　　〒XXX-XXXX　　◯◯県○○市◯◯１－２－３　　◯◯◯◯株式会社氏名　　　◯◯　◯◯電話　　　XXXX-XXXX-XXXXE-mail 　xxxx@xxx.xxx.xx |
| （１）事業構想について①想定している設備（10設備）の他に対象としたい設備があればお聞かせください。 |
| ②事業を実施するにあたり、事業継続が困難にならない対策・工夫などがあれば教えてください。 |
| ③風洞試験設備の維持管理に対するサービス対価を、民間事業者が行う利用拡大業務から得られる利益の一部と相殺してJAXAが支払う仕組みを成立させるための方策があればお聞かせください。 |
| ④事業の対象外としている業務について、将来的に対象業務範囲に含めることについて、その対応が可能か、方策とともにお聞かせください。 |
| （２）風洞試験設備の維持管理について①民間事業者において行う修理（劣化した対象設備等の水準回復）についての要望をお聞かせください。①-1： 500万円未満（※1）の修理（小規模修理）は民間事業者の責任で実施して柔軟でタイムリーな設備維持を実現することを一案としていますが、これについて考えをお聞かせください。（※1）試行期間（2023～2024年度）後の本格運営（2025～2027年度）移行時に見直す可能性があります。 |
| ①-2： 500万円以上（※2）の修理（大規模修理）は経年劣化、設計不良、その他潜在的な不良原因、その他民間事業者の責に帰すべからざる事由による修理について、JAXAが承諾した場合に限り、JAXAが費用負担することを一案としていますが、これについて考えをお聞かせください。（※2）本格運営（2025～2027年度）では1,000万円以上とする想定です。 |
| ②設備等（例えば高圧ガス設備）の維持運営に必要な法定組織について民間事業者自身が体制を組むことで事業の自由度が増すと考えられますが、どのようなメリットが考えられるかお聞かせください。 |
| ③風洞試験設備の定期保守や過去の不具合への恒久対策等の老朽化対策（保全更新）への対応方策があればお聞かせください。保全更新については、事業期間において想定される更新費用をJAXAが支払うことを一案としていますが、支払いを平準化したうえで事業を成立させるための方策があればお聞かせください。 |
| ④風洞試験設備の不具合対応に関する手順書について、JAXAが制定すべきか、あるいは民間事業者が制定すべきか、考えをお聞かせください。 |
| ⑤安全審査及び内部監査について民間事業者に対応いただくため、 ISO9001を取得いただくことを一案としていますが、その対応が可能かお聞かせください。 |
| （３）風洞試験の実施について①輸出管理を民間事業者自身が行うことによって、海外からの試験等の受入れや需要拡大が図れると考えますが、このことに対してどのようなメリットがあるかお聞かせください。 |
| ②風洞試験のスケジュール策定及び変更において、JAXAがどこまで関与すべきか、考えをお聞かせください。 |
| ③JAXA内のユーザの試験を優先することを一案としていますが、その対応が可能か、方策とともにお聞かせください。 |
| ④民間事業者は風洞試験データに対してどこまで責任を負えるか、考えをお聞かせください。 |
| ⑤試験データの高次処理（特に風洞天秤による6分力測定、各種補正処理等）について民間事業者に対応いただくことを一案としていますが、その対応が可能か、方策とともにお聞かせください。 |
| ⑥ユーザに対する技術サポートを行うためのテストエンジニア業務（※）について民間事業者に対応いただくことを一案としていますが、その対応が可能か、方策とともにお聞かせください。　（※）試験要求に応じた試験方案（試験計画書）の作成（設計）、模型の設計・製作、高度計測技術（光学計測等）、データ処理、研究者への助言等 |
| （４）利用拡大事業について①設備等（試験設備、建屋及びエリア）を自由に利用できることとした場合、どのような用途や事業等で設備等を利用したいかについて要望をお聞かせください。なお、利用拡大事業では、その目的を以下に限定することも考えられますが、当該制約が新たな事業に与える影響について、意見があればお聞かせください。目的：宇宙科学に関する学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上及び宇宙の開発及び利用の促進に寄与すること |
| （５）その他①民間事業者がユーザニーズを把握し、自ら技術開発、あるいはJAXAへの技術開発提案を行っていただくことを一案としていますが、その対応が可能か、方策とともにお聞かせください。 |
| ②新たな事業を実施するにあたり、具体的な教育・訓練の計画やJAXAに対する支援要望はあるか、考えをお聞かせください。 |
| ③事業契約書別紙８「◎」の業務以外にJAXAの助言が必要な業務があるか、考えをお聞かせください。 |
| ④新たな事業への参入検討にあたって、JAXA側に求める開示情報等についてご教示ください。 |
| ⑤新たな事業を担うにあたりJAXAへ要望する規制緩和についてご教示ください。 |
| ⑥本事業への参入決断にあたって、今後、どの程度の検討期間が必要ですか。 |
| ⑦現事業者からの引継ぎについて、期間確保、金銭負担、運営開始までに完了しない場合の対応等の方策をお聞かせください。 |
| ⑧その他、新しい事業構想についてご意見、ご質問等があればお聞かせください。 |

情報提供書の作成・提出にあたっての注意事項

1. 情報提供書はMS－Word形式で郵送または電子メールに添付して送付してください。
* 情報提供書は、記載例に沿って記入してください。
* 記載項目は、削除・追加しないでください。
* 記載の内容が判読しやすい字体とし、大きさは10.5ポイントを基本としてください。
* 情報提供書の下中央にページ番号を入れてください。
1. 本分に記載できない内容は別紙としてください。別紙には積極的に図、写真、グラフ等を使用して、簡潔に分かりやすく説明するようにしてください。
2. 原則10ページ以内（別紙部分含む。）でまとめてください。

＜提出先＞

①　郵送の場合

 〒182-8522　東京都調布市深大寺東町7-44-1

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構　航空技術部門　事業推進部

RFI事務局　宛

②　電子メールの場合

windtunnel2021rfi@chofu.jaxa.jp

＜電子メールの記入例＞

【メール件名】

風洞試験設備の維持・運営の民営化に係る情報提供書について

（メール本文記入例）

JAXA　航空技術部門　事業推進部　RFI事務局　宛

（所属機関名／氏名／連絡先（電話・電子メールアドレス））

風洞試験設備の維持・運営の民営化に係る情報提供依頼（RFI：request for information）に対して、添付ファイルのとおり情報提供書を送付します。

添付ファイルの内訳

１）　XXに関する情報提供書（word）

２）　XXファイル（PDF）